

芸術文化の灯を守る

新国立劇場の公演継続への決意

新国立劇場運営財団理事長 尾崎 元規

おさき もとしげ



新国立劇場は、現代舞台芸術のための我が国唯一のナショナル・シアターとして、確固たる運営理念のもと、世界の一流劇場に位するオペラ、バレエ、ダンス、演劇の舞台を年間を通じて企画・制作・上演をし、

心豊かで活力ある

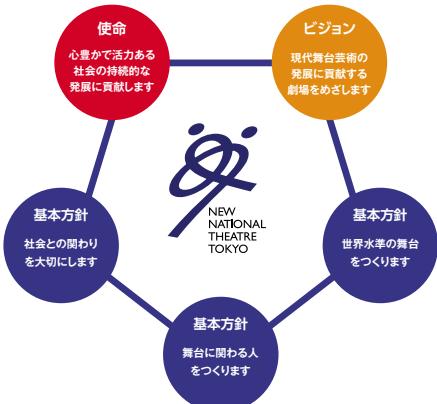
社会の持続的な発展に貢献すること

を使命としている。

ただいまが、1997年の開場以来、貫して経済界のご理解、ご支援をいたくことで、より機動的で創造性の高い事業を開展してきた。経団連の会員企業の皆様には、賛助会員制度や協賛制度を通じ、貴重なご支援を賜ってきたことに改めて感謝申し上げたい。

現在、オペラ部門は大野和士、舞踊部門は吉田都、演劇部門は小川絵梨子という日本が誇る各界の第一人者を芸術監督に擁している。各芸術監督の企画のもと、劇場の舞台には内外の一流アーティストが集い、劇場所属の新国立劇場合唱団、新国立劇場バレエ団は、いずれも我が国最高水準の合唱団、バレエ団として、劇場内外で目覚ましい活躍を続けている。また、研修事業を通じて、国内外で活躍する大勢のアーティストを輩出してきた。さらに、新国立劇場の舞台を日本各地にお届けする全国公演や、海外有力劇場との提携、国際共同制作を積極的に推進しており、日本の芸術文化の発信拠点としての重要性はますます高まっている。

新国立劇場の運営理念



我が国現代舞台芸術を世界へ発信

新国立劇場の会長には歴代、経団連会長にお就きい

未曾有の危機に直面

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、現下の新国立劇場は未曾有の危機に瀕している。2020年2月末から7月上旬まで、長期にわたって全ての公演を休止するに至った。7月より万全の感染予防対策のもと、客席数を大幅に削減して一部の主催公演を再開したものの、感染終息が見通せない中で、先行きについては不透明であると言わざるを得ない。

公演活動継続への決意

コロナ禍により多くの人々がともすれば沈鬱になる今、人々の心に寄り添い、明日への希望を与えるのは芸術文化の力である。「築城3年、落城3日」ではないが、皆様のご支援を得て、トップレベルの実績を誇るまで長年にわたり一歩一歩築き上げてきた新国立劇場の舞台芸術も、守り抜く強い意志が無かりせば、

容易に崩れてしまうのではと危惧している。

こういうときこそ、運営理念の原点に立ち返り、お客様の視点に立つて世界水準の舞台づくりを積み上げ、そして危機に瀕している全国の文化施設、芸術創造団体のためにも、公演活動継続の旗を掲げ続けていかなければならない。

新国立劇場一丸となつて、そう決意し、お客様の安心、安全を最優先とした上で、10月より2020／2021シーズンを開幕した。コロナ対策による演出面での制約などを超えて、舞台芸術を楽しみ、感動いただける意欲的なラインアップをご用意している。

いかなる時代においても、社会の活性化と芸術文化は不可分である。コロナ禍による深刻な経済環境の中ではあるが、我が国の芸術文化の灯を絶やさぬよう、経団連の会員企業の皆様のさらなるご支援を心よりお願い申し上げたい。新国立劇場へもぜひ、足をお運びいただきたく、お待ちしている。

近年の代表的な公演の模様



2018/2019 シーズンオペラ『トゥーランドット』
撮影：寺司正彦

コロナ対策を講じて行った本年7～8月の公演風景



世界初演・新作公演『竜宮りゅうぐう』こどものため
のバレエ劇場 2020
撮影：鹿摩隆司



2019/2020 シーズン演劇『イヌビト～犬人～』
撮影：細野晋司



安心・安全に最大限留意した新国立劇場の対策：
公演時のオペラパレス入口（2020年7月）

※問い合わせ先：(公財)新国立劇場運営財団 支援業務室 Tel: 03-5352-5911 E-mail: shien_gyomu1997@nntt.jac.go.jp
ご支援をいただいた皆様には、新国立劇場の活動にご理解いただくための様々なプログラムをご用意している。